

**JJA  
JEWELLERY  
DESIGN  
AWARDS  
2017**



日本ジュエリーの最高峰を求めて

## JJA ジュエリーデザインアワード 2017

JJA ジュエリーデザインアワードは、日本のジュエリー業界における最も権威あるコンペティションとして、日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞の作品を筆頭に独創的で斬新な優れたジュエリーを国内・海外へ向けて発信していく場です。高い技術力とデザイン力を誇る我が国固有の美しい文化と伝統を背景に、未来を見つめた新しいジュエリーを提案し続けていかなければなりません。

本アワードは二部門で構成されており、第1部門「プロフェッショナル部門」では時代をリードするデザイン・技術・品質を兼ね備えたジュエリーとし、第2部門「新人部門」では、新人・学生を対象に既成のジュエリーの概念を打ち破る新人らしい大胆な発想のジュエリーと位置付けています。

本アワードは、これからのジュエリー業界を担う新しい可能性を持つクリエイターたちの「ジュエリーに秘めた夢」の実現の場として、世界に向けた日本のジュエリー文化の発展を求め続けます。

---

会期／会場 ● 2017年8月28日～8月30日

ジャパンジュエリーフェア 2017 (JJF2017)

東京ビッグサイト 東5・6ホール アワード入賞作品展示会場

[展示作品] 全入賞作品

● 2017年9月15日～9月19日

香港ジュエリー&ジェムフェア

香港コンベンション&エキシビションセンター ホール3 JJA 広報ブース

[展示作品] 上位入賞9作品 (予定)

● 2017年10月21日～11月6日

山梨ジュエリーミュージアム 企画展示室

[展示作品] 全入賞作品

● 2018年1月24日～1月27日

国際宝飾展 (IJT2018)

東京ビッグサイト JJA 広報ブース

[展示作品] 特別賞含む上位入賞11作品 (予定)

主催 一般社団法人 日本ジュエリー協会

後援 経済産業省／厚生労働省／東京都／山梨県／台東区／日本貿易振興機構 (ジェトロ)／  
日本商工会議所／日本経済新聞社

協賛 公益社団法人 日本ジュエリーデザイナー協会／一般社団法人 日本真珠振興会／  
プラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社／UBMジャパン株式会社

---

**JJA  
JEWELLERY  
DESIGN  
AWARDS  
2017**



## ご挨拶



一般社団法人日本ジュエリー協会  
会長

中川千秋  
Nakagawa Chiaki

一般社団法人日本ジュエリー協会は、日本で最高峰のジュエリーコンテストを目指し多方面よりのご後援のもと、毎年「JJA ジュエリーデザインアワード」を開催しております。このアワードは当初（第一回 1989年）より数えますと第二十一回となり極めて歴史ある大会となっております。

今年度も内閣総理大臣・経済産業省・厚生労働省・東京都・山梨県・台東区・日本貿易振興機構・日本商工会議所・日本経済新聞社と多方面からのご支援をいただき盛大なアワードとなりました。本アワードは高いデザイン力と技術力を誇る我が国固有の美しいジュエリー文化を発信する場であり、将来の業界を担う新人発掘の場でもあります。この開催が我が国のジュエリー文化の更なる高揚に寄与していると考えております。

今年度は第1部門「プロフェッショナル部門」第2部門「新人部門」の二つの対象部門と致しましたが、全国から多数の応募をいただき、皆様に御礼を申し上げますとともに、応募者の皆様の創作意欲の高さを感じております。この作品の中から、各審査員の厳しい審査のもと「日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞」「経済産業大臣賞」「厚生労働大臣賞」「東京都知事賞」「山梨県知事賞」「台東区長賞」「日本商工会議所会頭賞」「日本ジュエリー協会会長賞」「新人大賞」をはじめとした各賞が選ばれました。

本年度は、技術力の高さはもちろんのこと、斬新な表現の作品も多く出品され、審査員の方々にはそれぞれの視点で「ファッションとしてのジュエリー」「時代を反映したジュエリー」「身に着ける人を高揚させるジュエリー」等、高度なレベルで真摯に審査いただき深く感謝しております。

一般社団法人日本ジュエリー協会は、来年度の創立三十周年を契機に、時流の変化に即応したジュエリーコンテストの在り方を見直し、日本における最高峰のジュエリーコンテストとしてのデザインアワードのさらなる発展を目指してまいります。

## 審査員 講評



東京藝術大学 名誉教授  
工芸科彫金

飯野一朗  
*Imo Ichiro*

1989年に始まったこのコンテストも時代の変遷に伴い応募条件等を検討しつつ回を重ねてきました。現在はプロフェッショナル部門、新人部門の二部門で非常に明快な主旨となっています。コンテストも長く続けているとマンネリになりがちですが毎回新しい表現、提案を持つ作品が出品されるのには驚かされます。

第1部門で大賞となったネックレスは半球状のクォーツを巧みに使い新しい表情を見せています。いろいろな素材を使っていますが見事にまとまり細部も優れた仕上がりで技術賞とのダブル受賞となっています。受賞された作品はそれぞれの特徴をいかに発揮した優品です。第2部門では新人らしいおおらかな造形表現を素材と向き合いながら展開してほしい。着用性を考え金具の研究も充分するべきであると感じました。

新人の育成は我々の責務です。さらなる発展、世界への発信に向け尽力したいと考えております。



デザイナー/  
プロデューサー

山本寛斎  
*Yamamoto Kansai*

今回はじめて、ジュエリーのコンペティションに参加させていただきました。

審査が進む中、この審査会での応募作品に対する評価が、ファッションとしての評価ではなく、飾り物としての評価になっているのではないかと、まじりを感じました。

年々、応募作品数が減っていると伺いました。ファッションの道を進むしかこのアワードが生き残る道はありません。

今後の審査会において、ファッションとしてのジュエリーとは何かを見直し、ファッションとしてのアワード作品の確立を通じ、デザインアワード、さらに日本のジュエリー業界が発展していくことを期待しております。

## 審査員 講評



山梨県立宝石美術  
専門学校 校長  
青島みどり  
Aoshima Midori

厳しく激しい波が押し寄せているグローバル化の時代の中で、ジュエリーはどのように変化し、進化しているか、それを楽しみに久しぶりに審査員として参加させていただいた。

審査の前に、ゲスト審査員の方から「ジュエリーとはどういうものをいうのか？」という質問があった。当然だろう。会場に並んでいるのは様々なもので、一般的に目にするジュエリーとは異なるものが並んでいるからだ。この限られた応募作品から審査をして各賞を決めることは大変なことで、審査員の先生方も苦労されたと思う。

もう少し作品づくりに時代のトレンドや空気感を“デザイン”を通して表現する視点があればもっと魅力的なジュエリーになる要素がそれぞれの応募作品にあるのに、会場には時が止まったように10年前と変わらない表現と装飾過多の作品が目立つ。決して大きいことが良いことではなく、小さな作品でもそこに何かを感じさせる要素があれば魅力が倍増してみえるが、飾るといふ点が強調され過ぎて、残念ながら日常で着ける・装うという点が後回しになってしまっている。これはジュエリーのデザインコンテストでは良く見られる手法なのだが、今も続いているということ少し残念な気がした。



学校法人 杉野学園  
ドレスメーカー学院 院長  
布矢千春  
Nunoya Chiharu

初めて、宝飾に関する審査員をさせて頂きましたので、作品の一つひとつ丁寧に拝見させて頂きました。技術的なことは分かりませんが、ファッションの視点で“感性豊かな作品”を高評価させて頂きました。周知の通り、宝飾品は高価なので、何年にもわたり身につけ、変わらぬ美しさが存在することもよく分かります。しかし、コンテストですので、私は身につける装飾品として、時代の気分を反映しているデザインに高得点を入れました。例えば、プロフェッショナル部門では、デコラティブなデザインを綺麗にまとめた作品に心を惹かれました。新人部門では自然やエスニックを感じる作品をチョイス。また、3年後にオリンピックを控えているので、スポーツも欠かせないキーワードです。シンプルで多面的な見え方をする作品に若いエネルギーを感じました。私の選んだ作品が全て高得点というわけではありませんので、落選した作品の中には個人賞を上げたい作品もあります。ここに応募された皆様が、クリエイターとして日本のジュエリー業界を発展させる力になって頂ければ嬉しい限りです。



文化学園大学 教授  
ジュエリー・メタルデザイン  
庄司喜久美  
Shouji Kikumi

ジュエリーは見た目の美しさは勿論ですが、身につけて美しく、つける人の気持ちを高揚させてくれるものだと思います。大賞は華やかでボリュームもありかなりの存在感を放っていました。東京都知事賞のペンダントは、細胞を表現したパーツのデザインがバランスよく構成されて、身につけた時の程よい主張が心地よく感じます。佳作のリングは、扇型の中に幾何学模様を配置し、展示された状態よりも実際に手に付けると上部のダイヤモンドが輝いて美しく、手に馴染みます。

新人部門の大賞は、繊細な透かしが全体のフォルムを包みこみ、大振りの形状を軽やかに表現しています。日本ジュエリーデザイナー協会会長賞の一連のリングは、キュービックジルコニアの見せ方に工夫がなされ、思春期の思いが込められた若者らしいコンセプトが表現されています。

どの作品も時間をかけ丁寧に制作されていて、作者への敬意を表します。今後も更なる若い世代の挑戦を楽しみにしております。



山脇美術専門学校  
ジュエリーデザイン科 科長  
富永 文  
Tominaga Aya

「いいジュエリーとは何か？」を考える審査会だった。その観点はそれぞれだと思うが、審査会場に入った瞬間目が留まるような作品が出品数に比例して減っており残念だった。

日本ジュエリー大賞の作品は、ドーム状にくり貫いた水晶を使って、独特の雰囲気を作り上げた。経済産業大臣賞のリングは、プラチナの質感とダイヤの奥行きをたっぷりと味わえ、迫力があつた。日本ジュエリー協会会長賞の作品は遠目にも映える存在感を持つ。チョーカー部分のリボンがトップ部分と調和していたら評価が高くなつただろう。

第2部門の新人大賞、新人優秀賞の上位四点は、いずれもデザインを引き立てる、完成度の高い作りによって票を伸ばした点が特徴的だった。

来年度以降、第2部門には、学生らしい伸びやかで挑戦的な作品が多く出品されることを期待する。

## 審査員 講評



株式会社 織研新聞社  
取締役 編集局長  
藤浦修一  
Fujiura Shuichi

この度、「JJA ジュエリーデザイン  
アワード 2017」審査会に初めて出席  
させていただきました。各分野の専門  
家の先生方から貴重なお話を聞かせて  
いただき、たいへん勉強になりました。

審査会では、出品された作品を一つ  
ずつじっくりと見させて頂き、その上  
で、自分なりの上位作を選びました。  
まず、重視したことは第一印象。作品  
から少し離れたところから見て、綺麗、  
かわいいと思えるものをピックアップ  
しました。次に、作品に込められたテー  
マやメッセージと合わせて、作者の皆  
さんの思いが、作品に反映されている  
かどうかを判断基準にしました。技術  
に関しては、素人なので、丁寧な仕上  
げになっているか、手数がどれほどか  
かかっているのかなどを想像してみました。

最後に、改めて全体を見て、そのジュ  
エリーを着用した方が幸せを感じられ  
るか、美しく見えるか、満足感を持て  
るかなどに考えを巡らせて、最終的な  
採点を下しました。

上位選出された作品は審美性、ざん  
新さなどで素晴らしいものだと思います。



ジュエリーデザイナー  
菅沼知行  
Suganuma Tomoyuki

数年ぶりに審査に参加して、応募作  
品が少ないな、というのが第一印象で  
す。

大賞は力作でボリューム、緻密さ共  
に他を圧倒していました。受賞作の中  
にペンダントトップはよく考えられて  
いるけれども、その割にネックレスに  
安直なものを付けてしまったという作  
品が複数ありました、一考の余地があ  
ります。

ジュエリーを見て「美しい」と感じ  
ることは「希少価値」や「技術」とと  
もに大切です。CADや3Dプリンター  
の発達で緻密なジュエリーがアナログ  
時代と比較して簡単に制作できるよう  
になりましたが「感動する」というこ  
とは不変の要素です。制作者は造る論  
理だけでなく、時折客観的に作品を見  
る必要があると感じます。

期日を決めて「作品募集する」伝統  
的な方法のコンテストはメーカー各社  
の年間制作日程と一致しない場合が多  
いと思われます。画像・動画の進歩に  
よって「1年間に作られた各社の代表  
作」から選ぶ方法を考える時代に来て  
いるのではないのでしょうか。



ジュエリークラフトマン

西田良洋

*Nishida Yoshihiro*

出展数が年々減少しているのは景気のせいでしょうか。活気を取りもどしたいですね。

一人で完成させる作品から数人で多くの時間をかけ制作された作品を一堂にして採点する訳ですから審査する側として多くの知識をもって臨まなければなりません。

好みは別として、直感で見て手に取って触って五感をもって臨みました。審査員長の名配慮のもとまとまった感じで審査がなされたと思われまます。第1部門では「Ecume」がデザイン、構成、製作として群を抜いていた感じがし、技術賞としても選定しました。第2部門では、多くの技法を身につけられ出展されたと思われる作品が数点あり今後成長されプロとしてデビューされる日を楽しみにしております。

総評としてキャド造型製法が多用され技術は何か製作分野が広がっている感じがしますが、発想をもって構成されたセンスの良いデザイナーが育ってないと思われまます。より一層の育成が望まれます。

## 審査員一覧

審査員長	飯野 一朗	東京藝術大学 名誉教授 工芸科彫金
ゲスト審査員	山本 寛齋	デザイナー／プロデューサー
審査員	青島 みどり	山梨県立宝石美術専門学校 校長
審査員	布矢 千春	学校法人 杉野学園 ドレスメーカー学院 院長
審査員	庄司 喜久美	文化学園大学 教授 ジュエリー・メタルデザイン
審査員	富永 文	山脇美術専門学校 ジュエリーデザイン科 科長
審査員	藤浦 修一	株式会社 織研新聞社 取締役 編集局長
審査員	菅沼 知行	ジュエリーデザイナー
審査員	西田 良洋	ジュエリークラフトマン
特別賞選定員	小宮 宇子	公益社団法人 日本ジュエリーデザイナー協会 会長
特別賞選定員	金子 康男	一般社団法人 日本真珠振興会 理事
特別賞選定員	ハンキンソン尚子	プラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社 代表取締役社長
特別賞選定員	クリストファー・イブ	UBMジャパン株式会社 代表取締役

### 応募作品・点数

第1部門	プロフェッショナル部門	31 作品	49 点
第2部門	新人部門	40 作品	70 点
	合計	71 作品	119 点

入賞作品 27 作品 52 点



日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞

経済産業大臣賞

厚生労働大臣賞

東京都知事賞

山梨県知事賞

台東区長賞

日本商工会議所会頭賞

日本ジュエリー協会会長賞

## 日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞 / 技術賞

Grand Prize and Prime Minister's Award / Craftsmanship Prize



デザイナー  
西村大記  
Nishimura Taiki

[製作者/応募者]

株式会社 桑山

### 「Ecume」

「Ecume」（フランス語で泡）が持つ、レンズ効果と沸き立つ立体的な躍動感の美しさからインスピレーションを得てデザインしました。水晶が持つレンズ効果は手前にある物を大きく、奥にある物は小さく見せ、視覚的な奥行きを生み出します。この奥行きが幾重にも重なる事で無限に膨張していく小宇宙の様な「泡」を表現しています。

- 1988年 三重県生まれ
- 2010年 国立鳥羽商船高等専門学校 商船学科 卒業
- 2013年 全国ジュエリー・アクセサリデザイン画コンテスト 審査員特別賞 受賞
- 2014年 日本宝飾クラフト学院 卒業
- 2015年 宇和島パールデザインコンテスト  
ジュエリーデザイン A 部門（パール・貴金属・貴石）部門賞 受賞  
ジュエリーデザイン B 部門（パール・異素材）入選



ネックレス/Pt900/ダイヤモンド/クォーツ・真珠

経済産業大臣賞 /  
プラチナ・ギルド・インターナショナル賞  
*Economy, Trade and Industry Minister's Award / Platinum Guild International Award*



リング/Pt900/ダイヤモンド



デザイナー  
本橋たかね  
*Motohashi Takane*

〔製作者〕 寶福秀樹  
〔応募者〕 株式会社 ベーネユナイテッド  
〔E-mail〕 takane@bene-bene.com

### 「生命の樹」

世界各地の神話で語られる「生命の樹」は、天と地を結ぶ希望の象徴であり、あらゆるものを生み出す命の源です。生命の樹を形作る「樹、水、光」の3要素を三角形に集約し、未来への希望を表現しました。最初はあるデザイン画を描かず、粘土を使って考えることで、紙の上では思いつかないアイデアを導きだしました。

1970年 神奈川県生まれ  
1994年 法政大学卒業  
1998年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ デザインコース終了

# 厚生労働大臣賞

Health, Labour and Welfare Minister's Award



リング/K18・七宝/ダイヤモンド/ダイヤモンド・ピンクサファイア



デザイナー  
居嶋成邦  
Ijima Narukuni

〔製作者〕 細萱美佐子  
〔応募者〕 東京貴宝株式会社  
〔E-mail〕 kiho@tenmaya-j.jp

## 「日本の桜」

日本文化に馴染みの深い桜。美しいが儂い桜を「ダイヤモンド」とともに永遠に咲き続けるジュエリーに閉じ込めました。

エナメル バスタイク技法で、桜の花弁はもちろん、紅色の蕾を忠実に再現しました。桜の花言葉は、「精神の美」「優美な女性」。まさに着ける女性を美しく咲き誇らせて欲しい。

1964年 大阪生まれ  
2008年 東京貴宝株式会社 入社  
2014年 天満屋ロイヤルジュエリーサロン マネージャー

# 東京都知事賞

Governor of Tokyo Award



ペンダント/K18/ダイヤモンド



デザイナー

石 有里

Ishi Yuri

〔製作者〕 man + moss

〔E-mail〕 atelierlirio@gmail.com

## 「細胞」

ひとつの細胞から全てが始まった。

いくつもいくつも分裂を繰り返し、私達は作られています。精密機械のような細胞の働きによって活動し、感動し、創造することができます。体の中で起きている神秘的な営みに感謝して。

細胞が活動している様子を、左右に揺れる動きで表現しました。

Pratt Institute 卒業

2010年 フレッシュマン ジュエリーコンテスト 入選

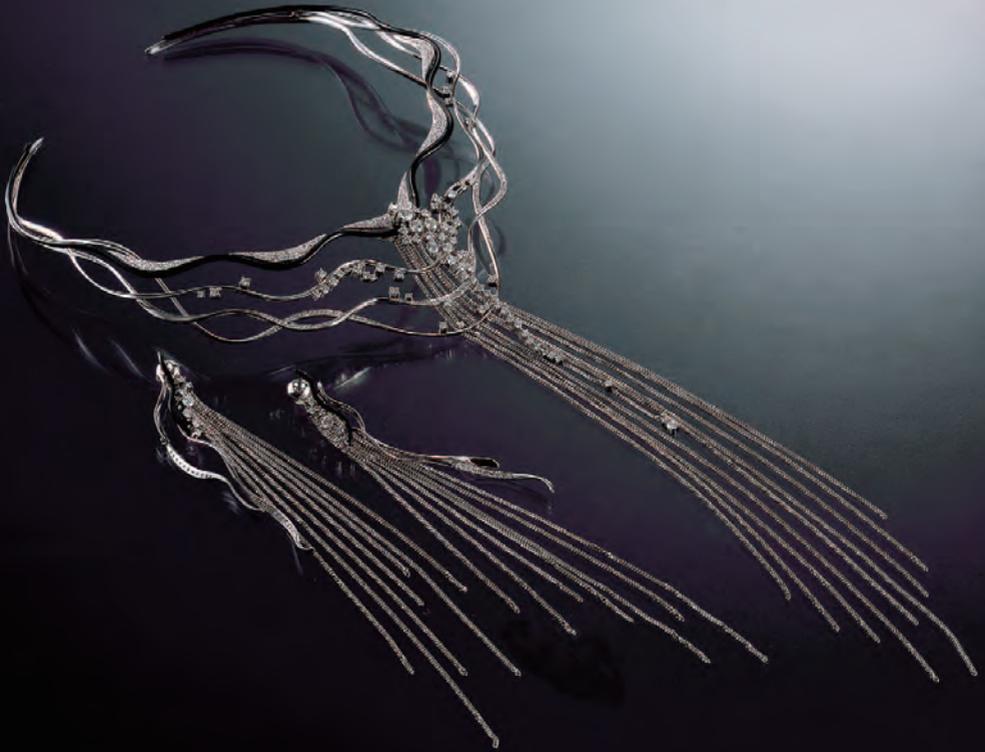
2011年 SUWA ラフダイヤモンド ジュエリーコンテスト 優秀賞

2014年 宇和島パールデザインコンテスト 入選

JJA ジュエリーデザインアワード 入選

# 山梨県知事賞

Governor of Yamanashi Award



ネックレス・ピアスセット/Pt900・Pt850・エナメル/ダイヤモンド



[製作者/応募者] 株式会社 ナガホリ

## 「水・・・生命の源」

豊かな水源に恵まれた日本の自然美である溪流をイメージしてデザインしました。流れ落ちる水のしなやかさ、飛び散る滴の輝く美しさをチェーンやダイヤで表現しました。サイドからの立体感を意識しながら着用時の安定感や美しさも大切にしました。鍛金でプラチナを鍛える事でバネ性や密度が増して形状を維持する事ができました。

デザイナー

中山恵美

Nakayama Emi

2007年 タヒチアンパールトロフィージャパン 2007-2008  
セットアップジュエリー部門1位

2009年 JJA ジュエリーデザインアワード 2009 日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞

2010年 JJA ジュエリーデザインアワード 2010 優秀賞

2016年 JJA ジュエリーデザインアワード 2016 日本真珠振興会会長賞

## 台東区長賞

Mayor of Taito City Award



バングル・リングセット/K18/ダイヤモンド/クォーツ・ルチレイテッドクォーツ



〔製作者/応募者〕 東京貴宝株式会社

〔E-mail〕 kazuyo.ishikawa@gmail.com

### 「Honeycomb - 豊穡 -」

水晶から透かして見えるダイヤのパヴェで、あふれる蜂蜜のきらめきを表しました。また、蜂の羽の内側には針水晶がセットされ、自然からの模様をそのまま頂きました。

バングルのジョイント金具も蜂の巣のデザインの一部になっています。

デザイナー

石川和代

Ishikawa Kazuyo

2004年 バレンツァデザインコンテスト グランプリ

2007年 アントワープダイヤモンドコンテスト 入賞

2013年 JJA ジュエリーデザインアワード 厚生労働大臣賞・第2部門 技術賞

2015年 香港 International Jewellery Design (IJDE Award) Distinction Award

2016年 JJA ジュエリーデザインアワード 台東区長賞

# 日本商工会議所会頭賞

Chairman of the Japan Chamber of Commerce and Industry Award



リング・ネックレス・ピアスセット/Pt900・K18WG/ダイヤモンド



〔製作者/応募者〕 栄光時計株式会社

## 「連」

ひとつずつの和が円となり、それぞれが意を高く持ち、それぞれが様々をのり越えてトップを目指し、連なる「和」でありたいと願う「連」です。

1985年 GIA-GG

2009～2011年 JJA ジュエリーデザインアワード 入選

2014年 JJA ジュエリーデザインアワード 日本ジュエリー協会会長賞 受賞

2016年 JJA ジュエリーデザインアワード 山梨県知事賞 受賞

デザイナー

吉田園子

Yoshida Sonoko

# 日本ジュエリー協会会長賞

Japan Jewellery Association President Award



ブローチ兼ペンダント/Pt900・K18/ダイヤモンド



〔製作者〕 工房 Z  
〔応募者〕 株式会社 エヌジェー

## 「飛輪 / HIRIN」

燦然と輝く太陽、光の広がりにより多くの恵み、そして生命力を感じます。  
輝きを空間にちりばめ、力強さを表現しました。

K18とPt900の層により、立体的な広がり、ハニカム構造により、  
強度と空気感を合わせ持ちます。

デザイナー

笹瀬 嘉子

Sasase Yoshiko

愛知県生まれ ヒコ・みづの宝石専門学校卒業

1985年 "GOLD IN FASHION 85" 入賞

2008年 FOREVERMARK Forevermark Design Award グランプリ・特別賞

2014年 JJA ジュエリーデザインアワード 厚生労働大臣賞

2015年 JJA ジュエリーデザインアワード 日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞

2016年 JJA ジュエリーデザインアワード 厚生労働大臣賞

An abstract graphic design featuring a complex, layered pattern of green and white geometric shapes, including lines and curves, set against a solid black background. The pattern is dense and dynamic, with various shades of green and white creating a sense of depth and movement.

## 第1部門

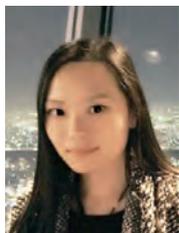
プロフェッショナル部門

## 優秀賞

Award of Excellence



ネックレス・ピアスセット/Pt900・K18WG・K18YG・K18PG/クォーツ・ブルートパーズ/ダイヤモンド



デザイナー  
肖 汪玥  
Xiao Wangyue

【製作者/応募者】 東京貴宝株式会社

【E-mail】 amarisxiao@yahoo.co.jp

### 「命の雫と虹の傘」

末広がりの和傘をモチーフに、自然と人々の調和をジュエリーに、雨を源に生きるさくらの愛しさを虹の傘で受け止め、日本の景色の背景とチャイニーズエレメントの融和を表現しました。

1988年 中国生まれ

2015年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪校 卒業

2015年 フレッシュマン・ジュエリーデザインコンテスト 入選

2016年 JJA ジュエリーデザインアワード 優秀賞

## 佳作

Honorable Mention



リング兼かんざし兼ペンダント/Pt900・Pt850・K18/ダイヤモンド/  
サファイア・アメシスト・グリーンガーネット・エメラルド・モルガナイト・ルビー

### 「KanzashiRing

— KYO no SHIKI —

静かな心をもって覗く丸窓から溢れ出る京の四季を彩る花々。宝石の煌めきも相まって眩しく夢のようなハレの心の輝きを呼び覚ます。そう、これは非日常、夢の世界の演出。贅と技術を極める煌びやかな特別なジュエリーは、世界一眩しいお洒落の為に。

デザイナー

沢村つか沙

Sawamura Tsukasa

〔製作者〕 今与 アトリエ室

〔応募者〕 株式会社 今与

〔E-mail〕 t-sawamura@imayo.co.jp

## 佳作

Honorable Mention



リング・ペンダントヘッド/K18・Pt900/真珠/ダイヤモンド

### 「和感」

「日本」を意識してデザインにこだわりました。幾何学的な要素を組み合わせて、シンプルな中にもどこか『和』を感じていただくことの出来るジュエリーです。

デザイナー/製作者

宮本恵美

Miyamoto Emi

〔応募者〕 アンシャンテ

## 入選 / 日本真珠振興会会長賞

Nominated, Japan Pearl Promotion Society President Award



リング・リングセット/Pt900・K18/ダイヤモンド・真珠/ルビー・オレンジサファイア・イエローサファイア・グリーンガーネット・サファイア・タンザナイト・アメシスト・ダイヤモンド

## 入選

Nominated



フィンガーグローブ・イヤークフ・ピアセット/Pt950・K18PG/  
ローズクォーツ/ダイヤモンド・ピンクサファイア

### 「月虹」

(満月から虹の贈り物)」

満月光の輝く虹、神秘的な光景を表現しました。

月虹に出会うと「最高の祝福・願いが叶う」といわれています。

デザイナー

渋谷優子

Shibutani Yuuko

[製作者] 河野圭司・渋谷優子

[応募者] 優宝

[E-mail] yufor@s3.dion.ne.jp

### 「至福の時」

ふたりの愛を紡ぐ時

ふたりの夢が叶う時

幸せに満ちた花嫁にふさわしく

自信と感動を凜と引き立てるでしょう。

デザイナー

内田千奈美

Uchida Chinami

[製作者] 丹澤昌二・河野道一

[応募者] 株式会社 近藤宝飾

[E-mail] kofu@kondo-gem.com

The background features a complex, abstract design of overlapping, curved, translucent green bands. These bands create a sense of depth and movement, set against a solid black background. The green bands vary in opacity and shade, from light lime to deep forest green, creating a layered, architectural effect.

第 2 部門  
新人部門

## 新人大賞 / JJF 賞

New Talent Grand Prize / Japan Jewellery Fair Award



ブローチ・ブローチ・ブローチセット/SV950・金めっき



花山ちひろ  
Hanayama Chihiro

### 「marvel」

有機的で複雑な造形をしており私たちに様々な影響を与えている“菌”や“微生物”に魅力を感じそれらをモチーフに制作しています。ミクロの世界で生きているモノたちが存在している必要性や重要性を第三者に感じてもらうことを目的に表現しています。

1993年 愛媛県生まれ  
2016年 日本ジュエリー展 Under26 部門賞 受賞  
2017年 金属工芸公募展【いまからまめさら 2017】李平 日中文化交流賞 受賞  
2017年 現在神戸芸術工科大学大学院 在学中

[E-mail] nnm45w52km@gmail.com

## 新人優秀賞

Award of Excellence for New Designer Prize



ブローチ・ブローチ・ブローチセット/K18・Silver・七宝/ダイヤモンド

### 「Rainforest」

自然の豊かな南国の雨林  
数多くの動物と植物の楽園  
空と地上と水辺  
立体感のある空間を作り  
十五色の七宝でこのカラフルな  
世界を表現しました。



### 夏 丁丁

Xia Dingding

1990年 中国生まれ  
2017年 専門学校ヒコ・みづのジュエリーカ  
レッジ 卒業

[E-mail] [chiakilittlesun@gmail.com](mailto:chiakilittlesun@gmail.com)

## 新人優秀賞

Award of Excellence for New Designer Prize



ネックレス・ブローチ/SV950・真鍮/キュービックジルコニア

### 「まっぷたつ」

「勢いよく切るハサミと切られる紙」ハサミはよく見ると不思議な形をしている。普段何気なく使っているものや見ているシーンには面白さがたくさん詰め込まれています。見慣れているものに目を向けてジュエリーにまとめました。「未来を切り開く」という意味を込めて。



### 中里有沙

Nakazato Arisa

1997年 神奈川県生まれ  
2016年 専門学校山脇美術専門学院ジュエリー  
デザイン科 入学

2017年 第8回 SUWA ラフダイヤモンドジュエ  
リーコンテスト 入選

## 新人優秀賞

Award of Excellence for New Designer Prize



リング/SV925/フルオライト/シトリン

### 「ひまわり」

夏の日差しに向かって大きな花を咲かせるひまわりをテーマに制作しました。角度を変えて見ることで新しい発見ができるような立体的な指輪を目指しました。花らしさを出すために動きをつけたシトリンの花びらと、対照的な平たい葉っぱの透かしの差を楽しんでいただければと思います。



### 吉田祐奈

Yoshida Yuuma

1989年 新潟県生まれ  
2015年 日本宝飾クラフト学院 入学  
2017年 第4回ベッ甲デザインコンテスト  
優秀賞

## 入選 / 日本ジュエリーデザイナー協会会長賞

Nominated, Japan Jewellery Designers Association President Award



リング・リング・リング・リング・リングセット/  
SV950/キュービックジルコニア・トパーズ

### 「グルーヴ」

自然の中で見つけた輝きを抽象的に表現した。正面は決まっておらず、どの角度でも楽しめる形状を見てほしい。

### 坂本陽子

Sakamoto Youko

[E-mail] umiyokoz@gmail.com

## 入選

Nominated



ブローチ・ブローチセット/SV950・ステンレス

### 「虚飾」

金属のパイプを使用し造形としての新しい表現方法を模索しています。今回は切ってからパイプ状にしました。

### 田口百恵

Taguchi Momoe

[E-mail] momoe.oxo@yahoo.co.jp

## 入選

Nominated



リング・リング・リング・リングセット/SV925

### 「ALIVE」

生き物は動くことで生きていることを示すと考え、生きるジュエリーを表現したいと思い動く指輪にしました。

### 陳 韋心

Chen Weishin

[E-mail] a93406b12345@gmail.com

## 入選

Nominated



ペンダント/SV925・七宝/ブルーカルセドニー/  
真珠・ピンクサファイア・キュービックジルコニア

## 「Flamingo」

マンゴー樹の生い茂る湖に生息するフラミンゴをイメージしたデザインです。

## 石 羽蒙

*Shi Yumeng*

[E-mail] owodog1030@i.softbank.jp

## 入選

Nominated



リング・リング・リングセット/SV950

## 「bumpy」

加工の方法によって異なった表情を見せる銀で指輪を制作し、人の内面と外面の葛藤や感情の変化を表現しました。

## 小谷一典

*Kodani Kazunori*

[E-mail] kk05112171@icloud.com

## 入選

Nominated



ブローチ・リングセット/SV950・アクリル

### 「SONOMONO」

アイテムの名称でアイテム自身を表現し、背景にはレタリング枠を用い、裏板にも名称を透かしています。

下小野田夏子

Shimoonoda Kako



## 入選

Nominated



ブローチ・ブローチセット/SV970

### 「生命への讃美」

植物の茎を切断した時に見える維管束の表情をもとに制作しました。

山本理緒

Yamamoto Rio

## 入選

Nominated



ブローチ・ブローチセット/SV950/アメシスト・ルビー・シトリン

### 「be cured」

内側と外側の質感の対比から、人の表面的な傷と内面的な傷を、細胞の修復の段階にイメージして制作しました。

### 中山四葉

Nakayama Yotsuba

## 入選

Nominated



チョーカー/SV950・ステンレス・樹脂/キュービックジルコニア

### 「Reflection」

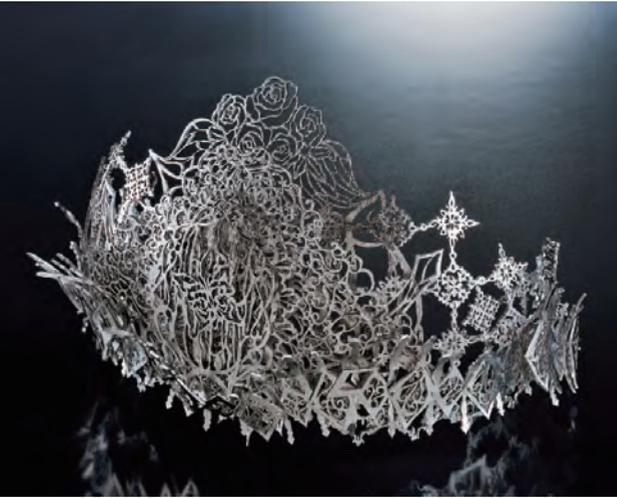
澄んだ空色の先に輝く光と影。  
透かしを通して覗く模様の美しさを影に映し、優美に舞う情景を表現しました。

### 笹野凌河

Sasano Ryouga

## 入選

*Nominated*



ティアラ (ブローチ・チョーカー・ピアス)/Silver

### 「Dark Rose Butterfly」

多種アイテムからなるティアラは、テクスチャーと相俟って透かしの重なりから繊細で複雑になるように表現しました。

### 武富智代

*Taketomi Tomoyo*

# 一般社団法人 日本ジュエリー協会

会長 中川 千秋

## デザインアワード部会

部会長

小山 藤太

## デザインアワード委員会

委員長

望月 尚

委員

坂巻 章雄

副委員長

山本 真理

日笠 祐二

編集

一般社団法人 日本ジュエリー協会  
デザインアワード委員会

撮影

Studio A-Vipc

印刷

山口北州印刷株式会社

発行日

2017年8月28日

発行

一般社団法人 日本ジュエリー協会  
〒110-8626 東京都台東区東上野 2-23-25  
TEL (03) 3835-8567 FAX (03) 3839-6599  
<http://www.jja.ne.jp> E-mail: [ja@jja.ne.jp](mailto:ja@jja.ne.jp)

禁無断転載複写



一般社団法人日本ジュエリー協会

